

MARVELOUS-J

【具体的な使用方法と効果の事例】



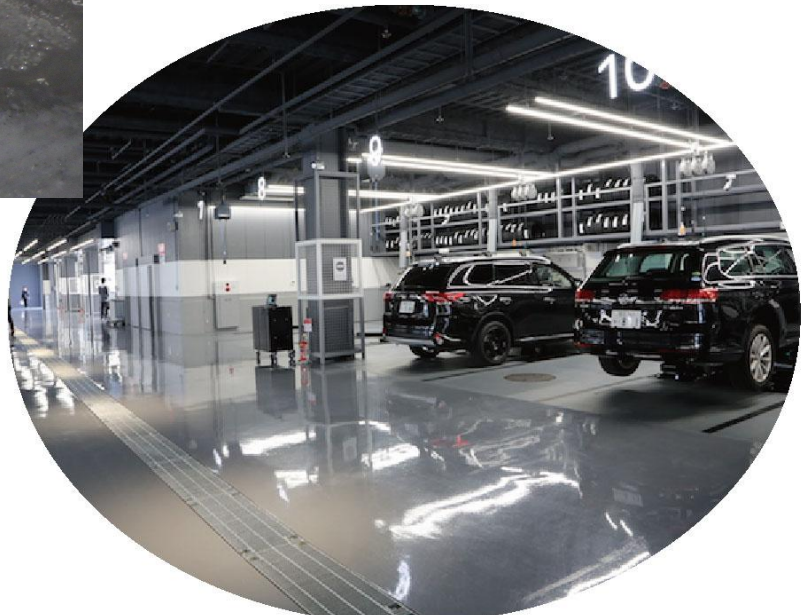
販売元：FYT株式会社
東京都中央区銀座8-17-5 Aios銀座8F
TEL:03-6228-4602
FAX:03-6228-4603

具体的な使用方法と効果①

[1]工場内の床洗浄

〈方法〉：床洗浄機タンクに20～50倍希釈となるよう、本製品を投入して洗浄します。

〈効果〉：塗装を傷めることなく、非常に小さい粒子が隙間に浸透して汚れを浮かせることができるので、清掃作業時間短縮と、オイルミストによるスリップ事故防止ができるので、ISO14000シリーズ認証取得や更新時のポイントUPにもつながります。また、洗浄後に塗り替えた塗装が剥離しにくくなり、長寿命化ができます。さらに、床面の油分を除去することで、場内にオイルミストが発生しにくくなり、金属製品に降りかかった後に酸化する事で発生していた錆の予防もできます。



具体的な使用方法と効果②

[2] 金属部品の洗浄

〈方法〉： 塗装やメッキなどの表面処理の前に必ず行われている部品洗浄で、超音波洗浄機・高圧洗浄機のタンク内に20～50 倍希釈となるよう本製品を投入して洗浄します。

〈効果〉： 洗浄能力は従来の洗浄剤と同様で、ガスの発生や、酸性またはアルカリ性による製品の腐食もなく、また洗浄廃液の処分が簡易になります。泡立ちも非常に少ないために、洗浄後のすすぎも低減され節水効果もあります。また、今までの洗浄で40～80℃に加温していれば、本製品に転換することで常温もしくは温度低減が可能になり、加温するためのエネルギーコストも削減できます。※別紙コスト削減事例①を参照ください

【注意】： 塗装前やメッキ前洗浄などの製品に使用する場合は、必ずお客様の方で試験・検証を実施していただき、本製品の使用濃度を決定するようにしてください。その場合、通常は20倍希釈から試験開始をして、10～50 倍希釈の範囲で従来の洗浄剤と同等の結果が得られます。



具体的な使用方法と効果③

[3] 樹脂成型・金属プレスなどの金型洗浄

〈方法〉： 今までの金型洗浄は、研磨剤や溶剤、またビーズ高圧噴射機などを使用していたために、表面劣化や合わせ面の摩耗によって成型品にバリが発生していたり、金型寿命が短くなる問題がありました。本製品20～50倍希釈液でブラッシングや浸漬による洗浄に切り替えます。

〈効果〉： 多くは研磨剤や溶剤で洗浄していたので、金型のエッジが摩耗している状態でした。本製品は有害成分を含んでいないので、使用時にガスが発生することもなく、また研磨剤も含まないので金型本体を摩耗・腐食させることなく簡単に金型洗浄が可能になりました。シンナーでも落とせなかった金型に固着した樹脂残渣を、本製品20倍希釈液噴霧後ブラッシングで簡単に落とすことができた例もあります。金型は製造業にとって大変貴重な財産なので、長寿命化することで大幅な原価低減につながりますし、摩耗によって発生したバリ処理工程を減らすことでも大きな効果を得られます。

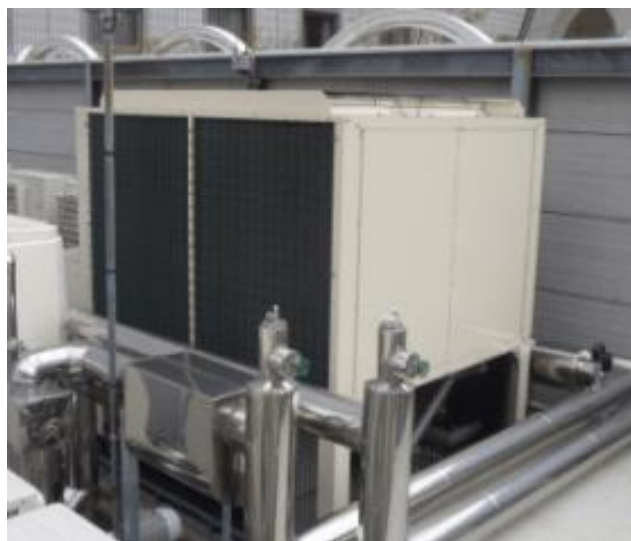


具体的な使用方法と効果④

[4] 冷却塔・チラーユニット等の循環システムの洗浄

〈方法〉：カルシウムやマグネシウム等の含有量の比較的多い工業用水や地下水または上水が、循環→蒸発を繰り返していくうちに水中のスケール濃度が高くなり、配管や熱交換器への堆積・固着するために、定期的に塔内や配管を苛性ソーダ(NaOH)で洗浄しています。本製品を循環設備を稼働したまま、循環水量の2%濃度になるよう投入します。日常薬注で使用する場合は、循環水がph10 程度を維持する0.5~1%濃度で投入します。

〈効果〉：配管内のスケール除去やタワー内の藻・スライム除去をするフラッシング効果、日常的注入すれば防錆効果、藻・スライム発生防止、レジオネラ菌発生防止の効果があるので、注入薬剤も1本化できます。



具体的な使用方法と効果⑤

[5] その他工業系での使用事例

(1) 油流出対策として使用

〈方法・効果〉： 構内で油流出した場合の路面の油膜除去や、側溝などへの油流出時に、吸着マットによる回収後の油膜除去として、本製品20倍希釈液が噴霧されており、油の拡散防止に寄与しています。

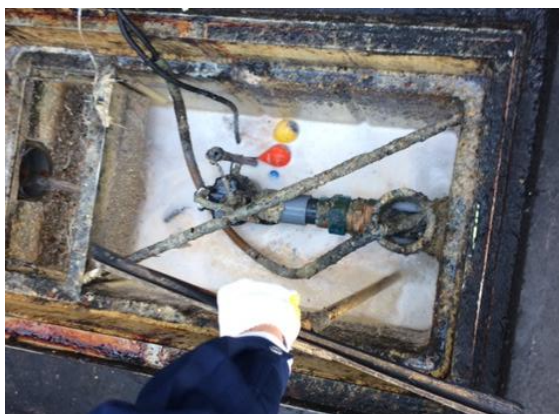
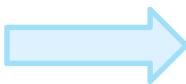


具体的な使用方法と効果⑥

[6] グリストラップ等の排水システムの洗浄

〈方法〉： グリストラップの蓋を取り外します。この時、ごみを取り除いた方が効果的です。バケツ（10ℓ程度）に20倍希釈を壁面等にかけてながらブラシ等で洗浄しながら投入します。グリストラップの規模および状態にもよりますが、1槽につき、バケツ（10ℓ程度）で約3～6杯を投入します。お湯で希釈することで更に効果的です。

〈効果〉： 投入後10分程度で臭気が軽減します。油分結合によるヘドロやスカムが抑制され、分解効果により臭気低減や、ドロドロ感の改善がなされます。ゴミと油分の塊などの詰まりや破損の原因を抑制する事が出来ます。日常清掃で流すことにより、グリストラップへの直接投入の回数も減り、投入濃度も調整できます。



具体的な使用方法と効果⑦

[7] 飲食店舗の食洗器での使用例

〈方法〉： 既存の食洗器用洗剤と混合(5:5)します。

※食洗器の導入時に食洗器用洗剤を購入する条件でご契約されている場合があるため、既存の洗剤を併用する方法です。尚20倍希釈液のみでも十分効果は得ることができます。

〈効果〉： 除菌および洗浄効果は勿論、泡立ちを押さえ排水することにより配管内も洗浄でき配管内の臭気も軽減されます。洗剤粕など破損の元を軽減し、結果的に食洗器の寿命を延ばすことに繋がります。

※一か月の洗剤使用量とコストの一例

従来の洗剤(液体洗剤)

約10,000円

※一般的な食洗機洗剤の価格を例としています。



従来の洗剤

5,000円

+

20~30倍希釈液

約1,000円

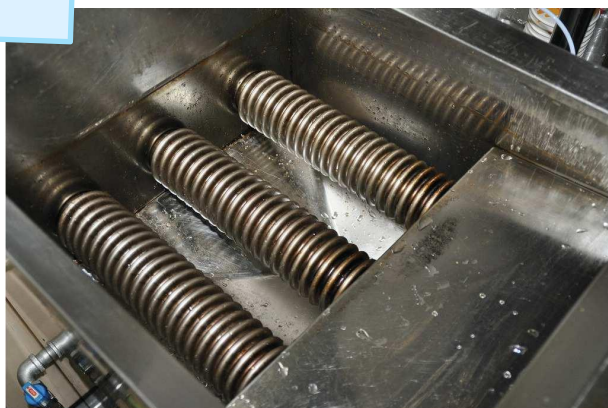
トータル6,000円

4,000円の削減!

具体的な使用方法と効果⑧

[8] 飲食店舗のフライヤーの洗浄

〈方法・効果〉：油を下部より抜いて下さい。油を抜いた後、フライヤー庫内に指定倍率：20倍希釈をセットし、30分ほど煮沸させます。加熱後に排水をします。この際、放熱板などにこびり付いている汚れは耐熱バッドなどで擦ると比較的簡単に落とせます。排水後、水で良く濯いで下さい。お湯で希釈したり、煮沸する際に希釈液が白く濁りますが、品質に問題ございません。ご安心下さい。洗浄後、様々な要因（濯ぎ忘れや洗剤こぼし）により仮に本製品が残渣したとしても毒性が食塩以下である為、事故を防ぎます。



具体的な使用方法と効果⑨

[9]店舗等(ワックス床)の洗浄

〈方法〉：【定期/洗浄作業】汚れ部分に(指定希釈液:20倍)を塗布機で塗布後、洗浄機(装着パッド:汚れに応じセレクト)にて擦り、すすぎを行って下さい。ワックスの完全剥離をされる場合、または頑固な汚れにはお持ちの溶剤(苛性ソーダなど)に少量(5%程度)添加し洗浄されているケースもございます。

【すすぎ(リンス)作業】すすぎ作業(指定希釈倍率:50倍)は狭い場所はモップ、広い場所は洗浄機にて行います。

〈効果〉：【定期/洗浄作業】ワックス塗布までの乾燥時間を大幅に短縮します。冬場に扇風機なしでも乾きが早いのが特徴です。臭気を低減し、塗装面の艶焼け、ゴムの腐食を殆ど起こさず、洗浄時間をこれまでの溶剤使用時と変わることなく作業効率/環境を改善されております。

【すすぎ(リンス)作業】リンス工程でもこれまででは取れなかった汚れを分解/除去でき、塗布するワックスの密着性を向上させ、光沢値と写像性を上げます。溶剤系の洗剤なしで、ロウを数十秒で簡単に分解できます。溶剤が入っていませんので汚水処理も簡単です。

